組合員活動のコーナー

組合員活動では「食」「平和」「環境」「くらし」など、さまざまなテーマで各地域が多彩なとりくみを行なっています。

平和学習 ～国際平和ミュージアム見学～

12月12日 天の川地域活動委員会(枚方市) 参加9名（うち子ども1名）

「平和について学びを深めよう」と、立命館大学国際平和ミュージアム（京都市）を訪れた天の川地域のみなさん。さまざまな展示物から、十五年戦争（1931年～）の戦時中・戦後のようすや、軍人だけでなく女性・学生・子どもまで戦争のためにくらしのすべてを捧げなければならなかったことなどを学びました。学徒出陣によって戦場で命を落とした学生の絵を展示しているコーナーでは、戦時に学生だったミュージアムのガイドさんと語り合う場面も。

ガイドボランティアさんの案内で館内を見学。十五年戦争のほかに近年の戦争・紛争の展示も。環境などくらしを守ることも「平和」

初めて見学された参加者からは、「今まで〝怖いから〟と目を背けていたけれど、大人になって改めて学ぶことも大事だと思った」「平和とは？ということを考える機会になった」。一方、「5回くらい来ているけど、そのたびに学ぶことがある」「前回は自由に見学したが、今日みたいにガイドさんに解説してもらうとわかりやすかった」など、折りに触れて学習する大切さも感じることができました。

帰りに立命館大学の学生食堂で昼食

「認知症ってなに？」 介護・福祉についての学習会

1月26日 門真まちづくり連絡会 門真組合員集会室 参加14名

高齢化社会における身近な問題〝認知症〟。認知症について学習し、理解しようとパルコープ福祉事業部の大杉さん・大西さんを講師にお招きし、学習会が行われました。

「現在、高齢者（65歳以上の方）のうち7人に1人は認知症、4人に1人は認知症予備軍だとされています。薬で進行を遅らすこともできるため、早期の受診・診断・治療はもちろん重要ですが、なによりも認知症になられたご本人にストレスがかからないような関わり方をするのが大切です。認知症の本人には自覚がないというのは大きな間違いであり、症状に最初に気づくのは本人で、誰よりも一番心配なのも、苦しいのも、悲しいのも本人。それを理解し、さりげなく自然に援助できることが望ましいですね。しかし、認知症の方をサポートするご家族や周りの方もストレスを溜めないよう、相談できる窓口をあらかじめ知っておくことが大切です」と大杉さんは締めくくられました。

参加された組合員さんは「今まで認知症について色々話を聞いたけど、一番分かりやすかった」また、ご家族の方が認知症で施設に入られたことのある組合員さんは「家族との関わりで認知症の程度も本人の気持ちも変わる。5分でも10分でもいいから会いにいってあげることが大切だと思う」などと様々な意見がでました。

介護支援専門員 大杉さん

認知症の方で、現実にないことを「あった」と訴える場合があります。その時は、本人のストーリーに合わせて話にのってあげる方法もあります。それが、安心にもつながり、混乱を防ぐことができます。

大杉さん・大西さんの分かりやすいお話に、みなさん一生懸命耳を傾けます

認知症に関するご相談は福祉事業部までお気軽にどうぞ。日常の介護相談も受け付けております。
福祉事業部 ☎0120－294－044（9：00～17：00 月～金）

炊き込みご飯食べくらべ

12月8日 西都島パル委員会(大阪市) 東都島店組合員集会室 参加17名（うち子ども2名）

休日の子どものお昼ご飯にもなり、忙しい主婦の強い味方でもある炊き込みご飯。パルコープで取り扱っている炊き込みご飯の素を色々知ってもらおうと、今回は3種類の食べくらべを行いました。

まずは、〝わが家の炊き込みご飯〟について交流を。市販品・手作りを含め、ほとんどのご家庭で炊き込みご飯を作られているそうです。「おでんの残り具材を刻んで具にし、つゆを使って炊くよ」「ツナ缶と塩こんぶ、人参、油あげを使ってつくるよ」など、いろんなアイディアが続々。また、おもてなし用にアレンジする話題では「ゆずや紅しょうがを乗せてもキレイね」「型抜きで盛り付けするとか♪」という声もたくさんあがりました。

やがてご飯が炊け、部屋中に炊き込みご飯の良い香りが。食べくらべのスタートです!! お店で人気の〝小えびの天ぷら〟や〝おばあちゃんのおはぎ〟も一緒に試食し「おいしいね♪」とみなさんお箸が止まらない様子。「炊き込みご飯のレトルトをよく使うので、すごく参考になった」「たくさんアイディアもらえて勉強になりました」と話題の絶えない有意義な会となりました。

今回試食した炊き込みご飯の素３品☆

CO・OP とり釜めしの素
3月3回 210g（3合用）
本体148円（税込160円）
アレンジレシピを16ページに掲載

袋から出して入れるだけ！委員さんが事前に準備

お気に入り商品が見つかりました☆

迎春商品の学習・試食会

11月11日 南平野地域活動委員会(大阪市) 大阪市男女共同参画センター 参加29名（うち子ども4名）

昨年9月に委員さん対象に行われた「迎春商品学習会」で学んだ商品の中から、委員のみなさんが印象に残った商品、特徴的な商品などを地域の組合員さんに紹介しようと、迎春商品の学習・試食会が行われました。また、普段の調理にも役立つように、冷凍の魚をおいしく食べる下処理の工夫の〝裏技クッキング〟の披露や、おせちセットのお重詰め体験なども実施。

中でも好評だったのは、おせちセットのお重詰め体験。商品案内の写真をもとに、みんなでアイディアを出しながら詰めていきます。花の飾りも使って華やかに完成!!

「初めて会った組合員さんとも和気あいあいと商品や使い方の情報交換ができてよかった」「目に止まってなかった商品もあり、勉強になった」などの感想が出ました。

商品の特徴をみんなで学習

完成!!中心のカップは羊羹が入っていたカップを再利用♪（使用したのはおせち４品セット・ふたりのおせち10品）